伝統を受け継ぐ 清部地区の松前神楽奉納

令和2年の幕開けとなる元日、清部地区で恒例行事の門祓い行列と松前神楽奉納が執り行われました。

門祓いでは、塩・御幣（神祭用具の一つで、紙または布を切り、細長い木にはさんで垂らしたもの）・榊・御獅子の順で家々を祓い清め、一年の安泰と大漁豊作を祈願しました。

また、還暦を迎える方がいる家ではますますの健康長寿を祈願し、床の間祓いが行われました。

阿部駿佑くん

門祓いの後は清部八幡神社で松前神楽が奉納され、今年は**阿部駿佑**くん（大島小2年）と**佐々木暉人**くん（大島小5年）が初舞台を踏みました。

明治3年（1870）に清部地区で神楽の伝承活動が始まってから、今年でちょうど150年の節目にあたります。

松前神楽が次世代へ継承されてゆく姿を目にした観客は、阿部くん、佐々木くんをはじめ、保存会の方々に大きな拍手を送っていました。

佐々木暉人くん

緊張の一瞬 各地区で百人一首カルタ大会

1月11日、大島小学校で江良地区青少年健全育成推進協議会（会長・堺繁光）主催の「百人一首カルタ大会」が開催されました。

また、1月19日、町民総合センターで「第50回松前町下の句百人一首カルタ大会」が開催されました。

大島地区での大会には今年は2チームのみの参加となりましたが、最後まで目が離せない接戦を繰り広げました。

松前町の大会には、小中学生から一般まで7チームが参加しました。

どちらの会場でも子どもたちは、読み手の声に集中し、緊迫した空気の中で、句が読まれると素早く札を取っていました。

大島地区百人一首カルタ大会

優勝 ピカチュウ
（高橋柚菜、野坂心愛、高橋悠馬、斉藤すみれ）

準優勝 イーブイ
（福井楓、阿部駿佑、東舘望愛、本間絵梨）

松前町下の句百人一首カルタ大会

優勝 三笠
（高橋叶和、藤井悠那、河野慶子）

準優勝 われても末に
（村井萌々華、田村澄子、小野寺真紀）

3位 ちはやふる
（松田悠衣、川原柚泉、伊藤愛未矢）

大島地区の様子

松前町の様子

※高校生以下の方の名前にふりがなをふっています。

新年の始まり 気を引き締め出初式

1月4日、松前消防団の出初式が行われ、制服に身を包んだ消防団員と消防車両が松前公園から町民体育館まで街頭行進しました。また、その後行われた式典で、次の方々が表彰されました。
※敬称略（ ）内は所属分団名

北海道知事表彰

30年勤続章
佐々木好文（大島）

10年勤続章
熊谷 隆一（大島）
石川 聡（大沢）
川合 良広（小島）
田原 良紀（小島）
川村 友也（大沢）

管理者表彰

賞詞
杉本 隆磨（松前）

賞誉
榊 良一（大島）
鎌田 啓（大沢）
伊川ふじ子（さくら）

北海道消防協会長表彰

功績章
川合 勝礼（松前）
川口 明弘（大沢）

30年勤続章
石塚 敏夫（大沢）

10年勤続章
田原 良紀（小島）
川村 友也（大沢）

渡島地方支部長表彰

功労表彰
松谷 聡（小島）
佐々木好文（大島）

松前中の阿部さんが 卓球大会で見事2冠！

松前中学校の**阿部力**（りき）さん（2年）が昨年10月19日に開催された「渡島卓球少年団交流大会」の中学2年男子の部シングルスと、11月23日に開催された「道南新人戦卓球大会」のシングルスでそれぞれ優勝に輝きました。

新人戦卓球大会の準決勝と決勝では、全国大会常連の強豪選手たちとの対戦となりましたが、見事打ち破り優勝の栄冠を獲得しました。

阿部さんは「いつもは逆転負けすることが多かったけど、今回は戦術を考え、そのとおりに試合を運ぶことができ、優勝できたのでよかったです」と話していました。

お正月の準備お疲れ様でした！ 小正月まつりで女性をねぎらう

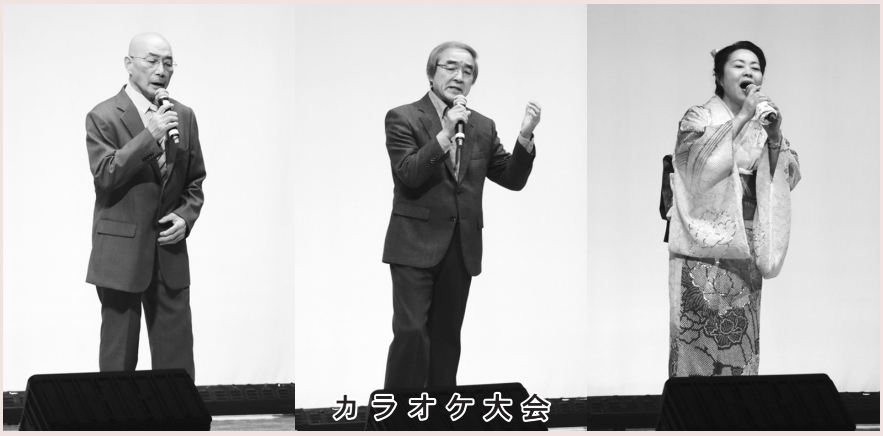
1月12日、パートナーシップランドいさりびで、「第16回小正月女のまつり」が開催され、約240人の町民が来場しました。

これは、お正月の準備などで忙しかった女性に感謝とねぎらいの意味を込めて小正月の風習にちなみ、小正月女のまつり実行委員会（実行委員長・大西仁）の主催で開催されているものです。

するめちゃん体操

まつりは、石山町長と年女の方々による鏡開きで開会し、来場された皆さんに御神酒がふるまわれました。

会場には、血圧測定やにしむら薬局のご協力による血糖値測定などのコーナーが設けられ、するめちゃん体操で体をほぐしたあとは、カラオケ大会が行われました。


カラオケ大会

その後は舞踊と歌謡ショーが行われ、来場者からは大きな拍手が送られました。

まつりの終盤には、たくさんの景品が用意されたビンゴ大会が会場を盛り上げ、最後に餅まきが行われ、来場された皆さんは、最後までまつりを楽しんでいました。

歌謡ショー

舞踊

人権意識の高揚に尽力 松中の取り組みが全国表彰

「全国中学生人権作文コンテスト」に、約100名もの応募を5年間連続し取り組んできた松前中学校が全国表彰を受けました。

このコンテストは、法務省と全国人権擁護委員連合会が主催し、人権尊重の重要性、必要性についての理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身につけるなど、広く中学生に人権尊重思想を根付かせることを目的としています。

12月23日には、松前中学校で伝達式が行われ、函館人権擁護委員連合会の木村清韶会長から生徒会長の**堀川小百合**（さゆり）さん（2年）に感謝状が授与されました。

情景を感情豊かに表現
俳句大会で多数入選

このたび、岬はいくポスト（代表・川内谷弘美）の子どもたちが応募した俳句が、次のとおり俳句大会で入賞しました。

また、昨年10月26日に福島町の諦玄寺で開催された暁俳句大会で、岬はいくポスト代表の川内谷弘美さん（白神）の作品が課題句の部と席題の部※でそれぞれ特選に選ばれました。

ふるさと情報カレンダー全国俳句大会

最優秀賞

堀川　凌央（小島小5年）

ふきのとう
散歩のとちゅう見つけたよ

令和元年度一茶まつり全国小中学生俳句大会

入選

堀川　凌央（小島小5年）

夏の朝　父の笑顔にいかのすみ

吉田　海奈（小島小6年）

川のぼり　鮭が卵をうみにくる

令和元年度暁俳句大会

特選

川内谷弘美（白神）

秋冷の息を小出しに眼鏡拭く
（課題句の部）

秋冷や胡座の中に児の温み
（席題の部）

※課題句と席題とは

俳句は、季語と五・七・五の定型を基本とする詩です。

課題句とは、大会の前にあらかじめ俳句に詠み込む季語や言葉が与えられているものです。

それに対し、席題は大会の当日、俳句に詠み込む季語や言葉が、はじめて参加者に告げられるというものです。

古文書から藩政時代の歴史をひもとく

令和元年12月25日から27日にかけて、町民総合センターで、北海道大学の谷本晃久教授（史跡福山城跡保存整備検討委員）、藤女子大学の松本あづさ准教授、北海道大学の大学院生3名により、藩政時代の古文書調査が行われました。

松前町には数多くの古文書がありますが、これらを丹念に読み込むことで今まで知られることのなかった歴史を明らかにすることができます。

今回は古文書全体の概要を把握し、令和2年度以降の本格的な調査方法を検討することが目的です。

皆さんの周りにも古文書がありましたら、ぜひ教育委員会文化社会教育課までご連絡ください。
（☎42－3060）

古文書調査の様子

大島小のトイレをリニューアルしていただきました

1月10日、**阿部建設**（代表・阿部利信）と**㈱原田設備工業**（代表取締役・原田五十次）が合同で、大島小学校に洋式トイレ2基を寄贈、設置してくださり、1月23日に2社に対し、町長から感謝状が贈られました。

これは、地域貢献の一環として、地元の小学校のために実施していただいたもので、子どもたちが安心して利用してくれればうれしいと話していました。

書の町まつまえ 児童生徒書初め席書大会

1月10日、町民体育館で、第16回金子鷗亭記念松前町児童生徒書初め席書大会が開催され、町内の小学生から高校生まで、136人が参加しました。

この大会は、松前出身の書家、金子鷗亭先生の業績をたたえ、多くの人に書に親しんでもらおうと、文化の香り漂う書のまちづくり推進協議会（会長・市田恵之）の主催で開催しているものです。

参加者には、学年別に題字が決められていて、子どもたちは手本を見ながら一画ずつ丁寧に筆を運んでいました。

入賞作品は次のページをご覧ください。

北海道学生書道展覧会 町内から多数入賞

「第72回北海道学生書道展覧会」において、町内児童・生徒の作品が多数入賞しました。

これは、毎年開催されている書道展で、今回は全道から応募のあった7035点のうち、推薦賞57点のなかに1人、特選賞562点のなかに4人の作品が選ばれました。

また、団体賞として松城小学校が優秀校に選ばれました。

賞状

推薦賞に輝いた堀美咲さん

個人賞

高校生・臨書の部

推薦賞　堀　美咲（松前高3年）

特選　村井杏里華（松前高1年）

小学生・課題の部

特選　藤井　悠那（松城小6年）

中学生・課題の部

特選　川原　柚泉（松前中2年）

熊谷　真彩（松前中3年）

団体賞

優秀校　松城小学校